



産卵のシーズンも残りわずか

記事

- ◇『宮崎海岸侵食対策検討委員会 第3回技術分科会』を開催しました！
- ◇続・宮崎海岸の今

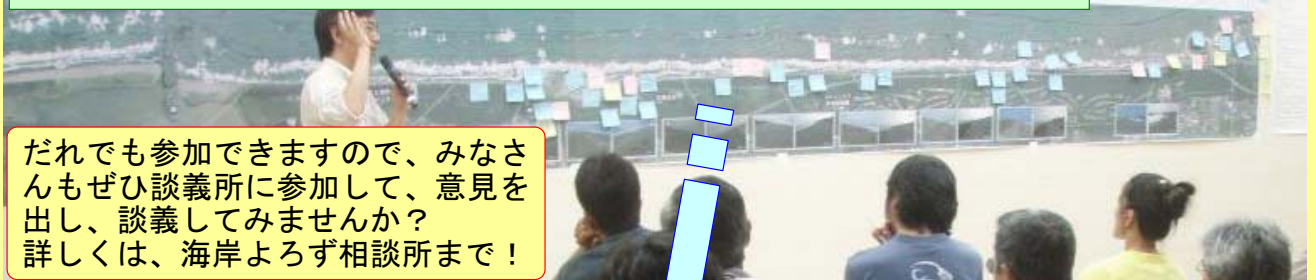
『宮崎海岸侵食対策検討委員会 第3回技術分科会』を開催しました！

宮崎海岸の侵食対策について技術的な事項を検討することを目的に設置している『宮崎海岸侵食対策検討委員会 第3回技術分科会（以下、「分科会」）』を7月10日に開催しました。

「宮崎海岸市民談義所（以下、「談義所」）」での取り組みがどのように活かされているかをピックアップすると、今回の分科会では前号でお知らせした「第2回談義所」に参加したみなさんが談義した『市民が考える、対策の条件・配慮すべき事項とその理由』について紹介しました。委員からは、談義所が出た意見に対して多くの質問がありました。また、「いつか、談義所と分科会を一緒に開催してはどうか？」という意見も頂きました。

このように、談義所での取り組みは、さまざまな場で共有し議論に活かしますので、ぜひ談義所に参加して意見を出し、談義してください。

第2回談義所で巨大な航空写真に参加者の意見をたくさん貼ってもらいました！



だれでも参加できますので、みなさんもぜひ談義所に参加して、意見を出し、談義してみませんか？
詳しくは、海岸よろず相談所まで！

第3回分科会で談義所で頂いた意見をそのまま委員に見てもらいました！



第3回分科会では、上記の他以下の技術的な点について専門家の意見を伺いました。

1. 侵食メカニズム解明に向けた調査・検討について
2. 地形変化モデル構築の考え方・妥当性の検証について
3. 今年度の試験施工等について

分科会で頂いた意見を踏まえ、今後は養浜を引き続き実施するとともに、養浜以外の工法（構造形式、材料など）も比較検討を開始します。検討にあたっては、景観、生態系、コスト等の多様な観点を考慮します。

なお、分科会の資料等は、海岸よろず相談所、宮崎河川国道事務所海岸課、裏面に記載の「海岸情報（宮崎海岸Publication）」にて閲覧できます。

続・宮崎海岸の今

前号で5月末に起きた宮崎海岸の地形変化について紹介しました。
その後、宮崎海岸がどのような地形になったかを、前号で紹介したクリーンパーク裏の海岸を例に紹介します。



①. クリーンパーク裏の海岸の変化

5月25日時点



5月29日時点



高波の影響で、排水管がむきだしになりました。

前号の紹介はここまで

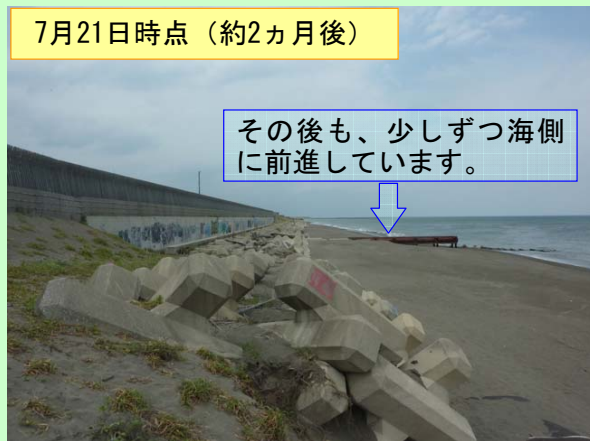
その後…

6月29日時点（約1ヵ月後）



排水管の根本が砂で覆われました。

7月21日時点（約2ヵ月後）



その後も、少しずつ海側に前進しています。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

